

# 施工計画書（記載項目等参考例）

## 目 次

・ 総合施工計画書.....	1
・ 建築改修工事一般 .....	7
・ 建築塗膜防水改修工事 .....	1 0
・ 建築外壁改修工事 .....	1 5
・ 建築建具改修工事 .....	2 1
・ 建築耐震改修工事 .....	2 6
・ 電気設備工事一般 .....	3 1
・ 機械設備ダクト工事.....	4 4
・ 機械設備配管工事 .....	4 9
・ 機械設備保温・塗装工事.....	5 7

# 総合施工計画書 1/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事及び

5千万円未満の電気設備工事、暖冷房衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
総合	1. 一般事項	1) 適用範囲	① 本施工計画書は「○ ○工事」に適用する。					
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図 等を記載する。 質疑・図面訂正事項書 現場説明書 特記仕様書 設計図 標準仕様書 標準詳細図 鉄骨設計標準図 営繕工事写真撮影要領 建築材料・設備機材等選定資料				
		3) 関係法規						
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する ○○工事監理指針 工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項						
		6) 見本その他						
		7) 工事関係者への 周知						
	2. 工事概要	1) 工事名						
		2) 工事場所						
		3) 工期						
		4) 契約金額						

## 総合施工計画書 2/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事及び

5千万円未満の電気設備工事、暖冷房衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		5) 工事内容		主な建物名称、規模等を記載する。				
		6) 他工種との関係						
	3. 施工一般	1) 工事現場の管理	① 本工事の特徴	工事の目的、条件、方法等を簡素に記載する。				
			② 施工条件	工事場所周囲の状況、建物配置、敷地高低、地盤等作業時間帯を記載する。				
		2) 本工事全般の進め方		作業員の教育、工程管理、管理目標値、検査体制、安全対策等を簡単に箇条書きで記載する。 入居官署及び近隣住民に対する安全等配慮事項を記載する。				
		3) 施工管理体制一般	① 関係連絡先	現場の構成・工種別責任者・監督員との連絡体制を記載する。 品質管理体制を明確にする。				
		4) 工事現場の施工体制	① 社内、現場の組織体制	現場における組織編成、命令系統、業務・役割分担を記載する。				
			② 主任(監理)技術者	氏名を記載する。		現場代理人等通知書で資格等を確認		
			③ 電気保安技術者	必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料を添付する。	資格証(写)添付			
			④ 工事用電力設備の保安責任者	必要な資格を証明する資料を添付する。	資格証(写)添付			
			⑤ 技能士	技能士の資格を証明する資料を添付する。	資格証(写)添付			

## 総合施工計画書 3/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事及び

5千万円未満の電気設備工事、暖冷房衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		5) 安全衛生管理体制						
		6) 主要工事別施工 計画概要	① 仮設、防水改修、外 壁改修、建具改修、 内装改修、塗装改 修、耐震改修、環境 配慮改修	品質計画、要求品質に関する標準仕 様書の内容のほか、建築工事施工要 領内の項目・細目で、本工事において 特に重要と思われる部分や監督職員 の確認が必要な事項を、工事の内容 に合わせて箇条書きで記載する。				
		7) 管理・検査計画		材料検査、施工内容の確認、施工報 告、施工・工事記録、工事写真を記 載する。				
		8) 施工方法等の提 案						
		9) 臨機の処置	① 緊急時の連絡体制	緊急連絡の体制を一覧表に記載す る。 ・事故発生時の連絡先 ・地震発生時、大雨、強風等の異常 気象時の連絡先(夜間・休日)	緊急連絡体制一覧 表添付			
			② 災害または事故発 生時の対応	災害または事故発生時の安全確保、 二次災害防止及び監督職員への報 告等について記載する。				
		10) 服務規則		服装、安全帯、安全靴、入場許可証 等を記載する。				
	4. 安全衛生管 理	1) 安全衛生管理計 画		・工事現場内の安全について留意点、 対策 ・現場入退場について ・現場内の工事車両通行について ・作業員健康管理について ・火災予防について		工事安全計画書 を別途作成する場 合は記載不要		

## 総合施工計画書 4/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事及び

5千万円未満の電気設備工事、暖冷房衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		2) 現場安全衛生管理計画		工事現場の安全衛生に関する具体的な対策を記載する。 ・安全対策の重点目標 ・主要災害防止対策(墜落・感電・飛来等) ・整備局の重点的安全対策				
		3) 工事安全教育及び訓練活動計画						
		4) 安全管理組織及び安全パトロール体制						
	5. 環境保全対策	1) 環境保全対策等	① 関係法令	騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁等に関する関係法令と現場での対策を記載する。				
			② 化学製品	仕上げ材等の化学製品の取り扱いを記載する。				
			③ イメージアップ	建設事業及び建設業のイメージアップのため、現場で取り組む内容を記載する。				
	6. 仮設計画	1) 一般事項	① 現場事務所	位置・大きさ・搬入計画を記載する。				
			② 仮設電気・電話・水道・給排水等	引き込み位置を記載する。				
			③ 火気の扱い	消火器の位置・吸い殻入れの位置を記載する。				
			④ 工事施工のための仮設	ストックヤード・運搬・揚重・養生・仮設の設置期間を記載する。				

## 総合施工計画書 5/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事及び

5千万円未満の電気設備工事、暖冷房衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
	7. 主要資機材 計画	1) 一般事項	⑤ 出入り口の管理	関係者以外の立ち入り禁止・ 出入り口の交通安全を記載する。				
			① 資機材の保管場所、 保管方法を記載					
			② 主要資・機材発注 先一覧	採用予定の主な資機材発注先を一 覧表に記載する。 工種別施工計画書又は承諾図に記 載等の方法を明示する。 記載項目は、発注先、規格、製造 者名、品質証明書等。	主要資機材発注 先一覧表添付			
		3) 資機材の検査・ 試験						
	8. 工程管理 計画		① 実施工程表			月間工程表又は 工事週報のどち らかを監督職員 との協議で選択 可能		
			② 月間工程表					
			③ 工事週報					
	9. 施工図管理 計画		① 管理工程表	施工計画書、施工図及び承諾図等 の提出時期を記載する。		実施工程表を活 用することで省略 可能		
	10. 品質管理 計画		① 自主検査及び社内 検査体制	目標値、管理基準、許容値等 チェック方法、補修方法等 検査立会項目を記載する。				
	11. 写真撮影 計画		① 工事写真記録	工事写真の記録方法、撮影責任者等 を記載する。				
	12. 官公署へ	1) 計画通知、事前協		工事の着手、施工、完成にあたり、関				

## 総合施工計画書 6/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事及び

5千万円未満の電気設備工事、暖冷房衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
	の届け出等	議、協議書、埋蔵 文化財等		係官公署その他に対して必要な手続きの項目、内容及び実施時期等を箇条書で記載する。				
		2) 電気設備						
		3) 重機・足場(クレーン、エレベーター等)						
		4) 排水等						
		5) 工事实績情報の登録						
		6) 施工体制台帳		様式、管理方法、提出時期について記載する。				
		7) 工事保険						
		8) 建設業退職金共済制度						
	13. 保全に関する資料		① 資料名称、提出部数	次の提出資料のうち、該当するものを記載する。 建築物等の利用に関する説明書 機器取扱説明書、機器試験成績書 官公庁届け出書類 主要な材料、機器一覧表				
	14. その他	1) 技術提案事項等	① 総合評価項目		技術提案書を添付する			
			② VE提案事項					

## 建築改修工事一般 1/3

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
建築 改修工事一般	1. 一般事項	1) 適用範囲	本施工計画書は「○ ○工事」に適用する。			1. 一般事項及び 2. 工事概要の記 載内容が総合施 工画書に記載さ れている場合は 省略することが できる。		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図 等を記載する。 質疑・図面訂正事項書 現場説明書 特記仕様書 設計図 標準仕様書 標準詳細図 鉄骨設計標準図 営繕工事写真撮影要領 建築材料・設備機材等選定資料 など				
		3) 関係法規						
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 建築工事監理指針 工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項						
		6) 見本その他						
		7) 工事関係者へ の周知						
	2. 工事概要	1) 工事名						
		2) 工事場所						
		3) 工期						
		4) 契約金額						計画書を作成 した時点の工 事請負代金額



## 建築改修工事一般 2/3

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
								を記載する
		5) 工事内容						
		6) 他工種との関係						
	3. 施工一般	1) 施工管理体制	① 施工管理体制	工事の目的、条件、方法等を簡素に 記載する。 品質管理体制を明確にする。				
			② 技術者等	技能士、施工管理技術者等を記載 する。	資格証明書	総合施工計画 書に記載した場 合、省略できる。		
		2) 施工調査		調査方法・範囲・調査報告書の作成 内容を記載する。 ・現場のマーキング方法等				
		3) 仮設・養生等	① 仮設設備	この計画書に必要な仮設設備を記載 する。				
			② 養生	この計画書に必要な養生方法を記載 する。				
	4. 品質管理	1) 材料	① 使用材料		カタログ・製品安 全データシート 等			
			② 使用予定数量	品質管理に必要な場合は記載する。 施工計画数量に対して使用予定数 量を算出し記載する。				
		2) 品質管理計画等	① 品質管理計画	品質管理の方法・管理項目・部位・頻 度等を記載する。				
			② 工程					
			③ フローチャート					

## 建築改修工事一般 3/3

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		3) 検査	① 受入検査	受入検査に必要な検査項目・検査部位・検査方法等を記載する。	施工管理表(施工チェックシート)			
			② 監督職員の検査	監督職員の検査に必要な検査項目・検査部位・検査方法等を記載する。	施工管理表(施工チェックシート)			
	5. 施工要領					協力会社から提出された施工要領書とすることができる。		
	6. 安全衛生管理	1) 安全衛生管理計画		この計画書に必要な安全計画等を記載する。				
	7. その他添付資料			必要な資料を添付する。	仮設計画図 施工図 作業員名簿等 施工管理技術者・技能士・技能資格者等の資格証明書の写し 安全管理に必要な資格者の資格証明書 使用材料カタログ 使用機器・工具等カタログ 製品安全データシート			

## 建築塗膜防水改修工事 1/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
建築 塗膜防水 改修工事	1. 一般事項	1) 適用範囲	本施工計画書は「○ ○庁舎建築改修その 他工事」に適用する。			1.一般事項及び 2.工事概要の記載 内容が総合施工計 画書に記載されて いる場合は省略で きる。		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図 等を記載する。 質疑・図面訂正事項書 現場説明書 特記仕様書 設計図 標準仕様書 標準詳細図 営繕工事写真撮影要領 建築材料・設備機材等選定資料など				
		3) 関係法規		本工事が適用を受ける主な法令等を 記載する。 【記載例】 騒音・振動規制法及び関係〇〇市 条例の特定工事となる該当工事(既 存基礎解体のブレーカー作業)。 消防法による危険物(第四類第二石 油類)にプライマー・主材・硬化剤・ト ップコートが該当する。 指定数量1000L。				
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 建築工事監理指針 工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項		【記載例】 設計図書に定められた内容に疑義が 生じた場合、又はこの計画書の内容を 変更する必要がある場合は監督職 員と協議する。				

## 建築塗膜防水改修工事 2/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		6) 見本その他		本工事で提出が必要な見本等を記載する。 【記載例】 塗膜防水の色見本、塗膜防水・脱気装置・改修ドレン・アルミ笠木のカatalogを提出する。				
		7) 工事関係者への周知		工事関係者への周知方法を記載する。 【記載例】 この計画書の内容を○○会議などを通じて作業員等に周知する。				
	2. 工事概要	1) 工事名		○○庁舎建築改修その他工事				
		2) 工事場所		○○県○○市○○町○○番地○				
		3) 工期						
		4) 契約金額		¥○○,○○○,○○○				この計画書を作成した時点の工事請負額を記載する。
		5) 工事内容		【記載例】 ○○庁舎建築改修その他工事の内、防水改修工事、アルミ笠木の新設、機械基礎撤去・新設				
		6) 他工種との関係						
	3. 施工一般	1) 施工管理体制	① 施工管理体制	工事の目的、条件、方法等を簡素に記載する。 品質管理体制を明確にする。				
			② 技術者等	技能士、施工管理技術者等を記載する。	資格証明書		総合施工計画書に記載した場合、省略できる。	

## 建築塗膜防水改修工事 3/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		2) 施工調査	① 既存防水・保護層の確認	既存防水・保護層の状況の確認方法を等を記載する。	既存防水・保護層 確認報告書			
			② 下地確認報告書	防水下地の含水率・平坦性の確認方法等を記載する。	下地確認報告書			
		3) 仮設・養生等	① 仮設設備	この計画書に必要な仮設設備を記載する。				
			② 養生等	この計画書に必要な養生方法を記載する。 ・既存設備基礎の解体などで防水層を切断する場合の漏水対策 ・既存設備機器等の養生方法を記載する。 ・既存設備配管等の支持材等の取外し再取付けを行う場合の範囲と方法を記載する。				
	4. 品質管理	1) 材料	① 使用材料	・防水材料 メーカー名 品名・工法等 ・金属笠木 メーカー名 品名・形状等 ・コンクリート 製造工場 呼び強度等 ・鉄筋 メーカー名 規格・形状等	カタログ・製品安全データシート等			
			② 使用予定数量	品質管理に必要な場合は記載する。 施工計画数量に対して使用予定数量を算出し記載する。				
		2) 品質管理計画等	① 品質管理計画	品質管理の方法・管理項目・部位・頻度等を記載する。 管理項目(材料・防水層の形状寸法・仕上がり状態・防水性能等)				
			② 工程					

## 建築塗膜防水改修工事 4/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目:受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
			③ フローチャート					
		3) 検査	① 受入検査	受入検査に必要な検査項目・検査部位・検査方法等を記載する。	施工管理表(施工チェックシート)			
			② 監督職員の検査	監督職員の検査に必要な検査項目・検査部位・検査方法等を記載する。	施工管理表(施工チェックシート)			
	5. 施工要領	1) 工法等	防水 ・下地処理(コンクリー打ち継ぎ部) ・入隅、出隅、立上り、出入口回り、エキスパンション部納まり、ドレン役物回りアルミ笠木 ・固定方法と間隔を記載する。  鉄筋 ・配筋方法等を記載する。  コンクリート ・打設方法、打設後の養生、仕上げ等を記載する。		積雪荷重計算書 風荷重計算書	協力会社から提出された施工要領書で代替することができる。  配筋図を添付することで記載を省略できる。		
	6. 安全衛生管理	1) 安全衛生管理計画	① 安全衛生組織 ② 安全対策等 ・火気対策 ・墜落防止 ・落下防止	この計画書に必要な安全計画等を記載する。				

## 建築塗膜防水改修工事 5/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		2) 諸官庁届け等	① 消防法による消防署 の届出 ② 官公署その他への届 出手続等 ・書式 ・提出先 ・提出時期 ・検査時期	指定数量以下での搬入計画の場合 は搬入計画を記載する。				
		7. その他添付 資料		必要な資料を添付する。	仮設計画図 施工図 作業員名簿等 施工管理技術者・ 技能士・技能資格 者等の資格証明 書の写し 安全管理に必要 な資格者の資格 証明書 使用材料カタログ 使用機器・工具等 製品安全データ シート			

## 建築外壁改修工事 1/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
建築 外壁改修工事	1. 一般事項	1) 適用範囲	本施工計画書は「○ ○庁舎建築改修そ の他工事」に適用 する。			1. 一般事項及 び2. 工事概要 の記載内容が 総合計画書に 記載されている 場合は省略す ることができる。		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図 等を記載する。 質疑・図面訂正事項書 現場説明書 特記仕様書 設計図 標準仕様書 標準詳細図 営繕工事写真撮影要領 建築材料・設備機材等選定資料など				
		3) 関係法規		本工事が適用を受ける主な法令等を 記載する。 【記載例】 消防法による危険物(第四類第二石 油類)にプライマー・主材・硬化剤・ト ップコートが該当する。指定数量10 00L。				
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 建築工事監理指針 工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項		【記載例】 設計図書に定められた内容に疑義が 生じた場合又はこの計画書の内容を 変更する必要がある場合は監督職 員と協議する。				
		6) 見本その他		本工事で提出が必要な見本等を記載 する。				



## 建築外壁改修工事 2/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				【記載例】 仕上げ塗材の色見本、改修材のカタログを提出する。				
		7) 工事関係者への周知		工事関係者への周知方法を記載する。 【記載例】 この計画書の内容を〇〇会議などを通じて作業員等に周知する。				
	2. 工事概要	1) 工事名		〇〇庁舎建築改修その他工事				
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇				
		3) 工期						
		4) 契約金額		¥〇〇,〇〇〇,〇〇〇				この計画書を作成した時点の工事請負額を記載する。
		5) 工事内容		【記載例】 〇〇庁舎建築改修その他工事 の内の外壁改修工事 ・ひび割れ部へのエポキシ樹脂注入 ・欠損部等への充填 ・仕上げ塗材の塗り替え				
		6) 他工種との関係						
	3. 施工一般	1) 施工管理体制	① 施工管理体制	工事の目的、条件、方法等を簡素に記載する。 品質管理体制を明確にする。				

## 建築外壁改修工事 3/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
			② 技術者等	技能士、施工管理技術者等を記載する。	資格証明書			
		2) 施工数量調査	① 施工数量調査	亀裂・欠損・爆裂・塗膜剥離等の調査方法、現地へのマーキング方法を記載する。 外壁ひび割れ部等から漏水漏箇所を記載する。	施工数量調査報告書			
		3) 仮設・養生等	① 仮設設備	この計画書に必要な仮設設備を記載する。				
			② 養生等	この計画書に必要な養生方法を記載する。 ・寒冷期に施工する場合の養生方法を記載する。  ・既存施設等の養生方法を記載する。				
	4. 品質管理	1) 材料	① 使用材料	・仕上げ塗材 メーカー名 品名・工法等  ・改修材料 メーカー名 品名・形状等	カタログ・製品安全データシート等実績の資料(可とう性エポキシ樹脂・ポリマーセメントモルタル・パテ状エポキシ樹脂・エポキシ樹脂モルタル)			
			② 使用予定数量	品質管理に必要な場合は記載する。 施工計画数量に対して使用予定数量を算出し記載する。				
		2) 品質管理計画等	① 品質管理計画	品質管理の方法・管理項目・部位・頻度等を記載する。				

## 建築外壁改修工事 4/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				管理項目(樹脂注入の使用量の管理 方法・仕上がり状態等)				
			② 工程					
			③ フローチャート					
		3) 検査	① 受入検査	受入検査に必要な検査項目・検査 部位・検査方法等を記載する。  ・樹脂注入工法  ・Uカットシール材充填工法  ・シール工法  ・充填工法	施工管理表により 注入量測定結果 報告  硬化、仕上がり状 況確認  硬化、仕上がり状 況確認  充填材の仕上 がり状態及び硬化状 態の報告  施工管理表(施 工チェックシート)			
			② 監督職員の検査	監督職員の検査に必要な検査項目 ・検査部位・検査方法等を記載する。 ・高圧水洗工法の試験施工 ・塗膜はく離剤工法の試験施工				
	5. 施工要領	1) 外壁補修工法等	① 樹脂注入工法	注入量		協力会社から提出 された施工要領書 とすることができる。		
			② Uカットシール材 充填工法	温度管理、サンプリング資料(シーリ ング充填の場合)				コア抜き取り確 認の特記の有無

## 建築外壁改修工事 5/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
								に注意
			③ シール工法	温度管理、仕上げ塗材との適合性				
			④ 充填工法	ぜい弱部の処理方法				
			⑤ 塗り仕上げ材の 改修	既存塗膜の除去方法、下地調整				
	6. 安全衛生 管理	1) 安全衛生管理 計画	① 安全衛生組織	この計画書に必要な安全計画等を 記載する。				
			② 安全対策等 ・火気対策 ・墜落防止 ・落下防止					
		2) 諸官庁届け等	① 消防法による消防署 の届出	指定数量以下での搬入計画の場合 は搬入計画を記載する。				
			② 官公署その他への届 出手続等 ・書式 ・提出先 ・提出時期 ・検査時期	必要な資料を添付する。				
	7. その他添付 資料				仮設計画図 作業員名簿等 施工管理技術 者・技能士・技 能資格者等の 資格証明書の 写し 安全管理に必 要な資格者の資 格証明書			

## 建築外壁改修工事 6/6

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
					使用材料カタログ 使用機器・工具 等カタログ 製品安全データ シート			

## 建築建具改修工事 1/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等添付資料	工事書類簡素化の手段	該当項目	備 考
建築 建具改修工事	1. 一般事項	1) 適用範囲		本施工計画書は「○○庁舎建築改修その他工事」に適用する。		1. 一般事項及び 2. 工事概要の記載内容が総合施工画書に記載されている場合は省略することができる。		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図等を記載する。 質疑・図面訂正事項書 現場説明書 特記仕様書 設計図 標準仕様書 標準詳細図 鉄骨設計標準図 営繕工事写真撮影要領 建築材料・設備機材等選定資料 など				
		3) 関係法規		本工事が適用を受ける主な法令等を記載する。 【記載例】 騒音・振動規制法及び関係○○市条例の指定区域であるが、特定工事はない。				
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 建築工事監理指針 工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項		【記載例】 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合、又はこの計画書の内容を変更する必要がある場合は、監督職員と協議する。				
		6) 見本その他		本工事で提出が必要な見本等を記載する。				
		7) 工事関係者への周知		工事関係者への周知方法を記載する。				

## 建築建具改修工事 2/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				【記載例】 この計画書の内容を○○会議などを通じて作業員等に周知する。				
	2. 工事概要	1) 工事名		○○庁舎建築改修その他工事				
		2) 工事場所		○○県○○市○○町○○番地○				
		3) 工期						
		4) 契約金額		¥○○,○○○,○○○				計画書を作成した時点の工事請負代金額を記載する。
		5) 工事範囲		取付け場所(方位・階別等)、事前調査、撤去工法を記載する。				
		6) 他工種との関係						
	3. 施工一般	1) 施工管理体制	① 施工管理体制	工事の目的、条件、方法を簡潔に記載する。 品質管理体制を明確にする。				1次以下の協力会社の管理体制は5. 施工要領に記載することが出来る。
			② 技術者等	技能士、施工管理技術者等を記載する。	資格証明書	総合施工計画書に記載した場合は、省略できる。		
		2) 施工調査		調査方法・範囲・調査報告書の作成内容を記載する。				
		3) 仮設・養生等	① 仮設設備	この計画書に必要な仮設設備を記載する。	外部足場計画図 内部足場計画図	仮設計画書等を別に作成した場合は、省略出来る。		

## 建築建具改修工事 3/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
	4. 品質管理	1) 材料	② 養生、清掃	この計画書に必要な養生及び清掃方法を記載する。	養生計画図			
			① 使用材料	・建具メーカー名、規格、形状等 ・ガラス種別、大きさ、厚さ ・ガラス止めシーリングの規格等	カタログ・製品安全データシート等			
			② 使用予定数量	使用予定量を記載する。				
		2) 品質管理計画等	① 品質管理計画	品質管理の方法・管理項目・部位・頻度等を記載する。		管理項目等が施工管理表で確認出来る場合は省略することが出来る。		
			② 工程			実施工程表、月間工程表・工区別工程表とすることが出来る。		
			③ フローチャート					各施工要領に記載してもよい。
			④ 製作工場	・建具工場名称、所在地を記載する。	工場の設備概要等 工場の品質管理 会社カタログ・実績	工場の品質管理等を記載することで建具製作要領書を省略できる。		
			⑤ 加工及び組立て	材料加工の工法、接合法、組立て要領を記載する。				
			⑥ 防食・防錆処理	防食・防錆の方法、材料、下地処理を記載する。				
			⑦ 運搬	搬入方法、現場内保管方法を記載する。				



## 建築建具改修工事 4/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		3) 検査	⑧ 取付精度・要領	取付方法、精度、取付け検査方法 検査基準、工程検査方法を記載する。				
			① 自主検査	受入検査に必要な検査項目・検査部 位・検査方法等を記載する。	建具自主検査票 (取り付け精度検査)	自主検査と受入検 査を同時に行い記 録することが出来 る。		不合格部の再施 工は記録させる。
			② 受入検査	受入検査に必要な検査項目・検査部 位・検査方法等を記載する。	建具受入検査票			
			③ 監督職員の検査	監督職員の検査に必要な検査項目・ 検査部位・検査方法等を記載する。	施工管理表(施 工チェックシート)			
	5. 施工要領		① 建具工事			協力会社から提 出された施工要 領書とすることが できる。 施工要領は追記 方式とすることが 出来る。		
			② ガラス工事					
	6. 安全衛生 管理	1) 安全衛生管理 計画	① 安全管理体制			安全計画書等で 具体的な安全計 画が記載されて いる場合は、省 略出来る。		
			② 防火管理体制					
			③ 安全衛生管理計画	この計画書に必要な安全計画等を記 載する。				
	7. その他添付 資料			必要な資料を添付する。	施工図 内部足場計画図 養生計画図 ・技能士・技能資 格者等の資格証 明書の写し 安全管理に必要 な資格者の資格			

## 建築建具改修工事 5/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね6千万未満の建築工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
					証明書 使用材料カタログ 使用機器・工具等 カタログ 建具工場のカタロ グ等 製品安全データ シート			

## 建築耐震改修工事 1/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対象: 工事規模が概ね6千万未満の建築改修工事。

該当項目: 受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
建築 耐震改修工事	1. 一般事項	1) 適用範囲	本施工計画書は「○ ○工事」に適用する。			1. 一般事項及び 2. 工事概要の記 載内容が総合施 工画書に記載さ れている場合は 省略することが できる。		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図 等を記載する。 質疑・図面訂正事項書 現場説明書 特記仕様書 設計図 標準仕様書 標準詳細図 鉄骨設計標準図 営繕工事写真撮影要領 建築材料・設備機材等選定資料 など				
		3) 関係法規		本工事が適用を受ける主な法令等を 記載する。 【記載例】 騒音・振動規制法及び関係〇〇市 条例の特定工事となる。該当工事 既存基礎解体のブレーカー作業。 消防法による危険物(第四類第二 石油類)にプライマー・主材・硬化剤・ トップコートが該当する。(指定数量1 000L) 火気使用の作業有り 開口塞ぎ壁筋の既存鉄筋と新設鉄 筋の接合部(溶接)				
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 建築工事監理指針 工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項		【記載例】 設計図書に定められた内容に疑義が 生じた場合又はこの計画書の内容を 変更する必要がある場合は				

## 建築耐震改修工事 2/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対象:工事規模が概ね6千万未満の建築改修工事。

該当項目:受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				監督職員と協議する。				
		6) 見本その他		本工事で提出が必要な見本等を記載する。				
		7) 工事関係者への周知		工事関係者への周知方法を記載する。 【記載例】 この計画書の内容を〇〇会議などを通じて作業員等に周知する。				
	2. 工事概要	1) 工事名		〇〇庁舎建築改修その他工事				
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇				
		3) 工期						
		4) 契約金額		¥〇〇、〇〇〇、〇〇〇				計画書を作成した時点の工事請負代金額を記載する。
		5) 工事内容		【記載例】 〇〇庁舎建築改修工事の内、の耐震改修工事、内装改修工事及び外壁外壁塗装仕上げ工事。				
		6) 他工種との関係		【記載例】 関連工事の〇〇庁舎設備改修工事と移設等が必要な配線・配管等の範囲及び時期等を十分調整する。 警備用配線については、処置方法等を施設管理者と十分協議する。				
	3. 施工一般	1) 施工管理体制	① 施工管理体制	工事の目的、条件、方法等を簡潔に記載する。 品質管理体制を明確にする。				1次以下の協力会社の管理体制は5. 施工要領に記載することが

## 建築耐震改修工事 3/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対象: 工事規模が概ね6千万未満の建築改修工事。

該当項目: 受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
								出来る。
			② 技術者等	技能士、施工管理技術者等を記載する。	資格証明書	総合施工計画書に記載した場合、省略できる。		
		2) 施工調査		調査方法・範囲・調査報告書の記載内容を記載する。 ・現場のマーキング方法等。				
		3) 仮設・養生等	① 仮設設備	この計画書に必要な仮設設備を記載する。	外部足場計画図 内部足場計画図 仮設間仕切図	仮設計画書等を別に作成した場合は省略出来る。		
			② 養生	この工事に必要な養生方法を記載する。	養生計画図			
	4. 品質管理	1) 材料	① 使用材料	・あと施工アンカー 規格・形状等 ・鉄筋 メーカー名 規格・形状等 ・コンクリート 製造工場 呼び強度等 ・グラウト材 メーカー名 規格・強度等 ・内部仕上げ材(種類毎) ・外壁仕上げ材(種類毎)	カタログ・製品安全データシート等			
			② 使用予定数量	・鉄筋、コンクリート及びグラウトの使用予定量を記載する。				
		2) 品質管理計画等	① 品質管理計画	品質管理の方法・管理項目・部位・頻度等を記載する。 ・仕上塗材仕上げについて品質管理に必要なため、施工計画数量に対して所要数量を算出し、記載する。		管理項目等が施工管理表で確認出来る場合は、省略することが出来る。		
			② 工程			実施工程表、月間工程表及び工区別工程表を添付することが出来る。		
			③ フローチャート					各施工要領に

## 建築耐震改修工事 4/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対象：工事規模が概ね6千万未満の建築改修工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等添付資料	工事書類簡素化の手段	該当項目	備 考
								記載してもよい。
			④ 協力工場等	・生コン工場 ・鉄筋加工工場 ・第三者の試験機関	工場の設備概要等  会社カタログ・経歴書			
		3) 検査	① 受入検査	受入検査に必要な検査項目・検査部位・検査方法等を記載する。	施工管理表(施工チェックシート) ・配筋検査報告書 ・調合強度管理報告書 ・構造体強度管理報告書 ・断面寸法報告書 ・打ち込み後確認報告書 ・あと施工アンカー施工確認試験報告書 ・あと施工アンカー施工報告書	躯体断面寸法報告書及び打設後の確認報告書は工事写真とすることが出来る。 あと施工アンカー施工報告書は穿孔(所定の深さ、孔内清掃) 固着作業(埋込み長さ)等の必要事項を記載すれば工事写真とすることが出来る。		不合格部の再施工
			② 監督職員の検査	監督職員の検査に必要な検査項目・検査部位・検査方法等を記載する。 試し練り・試験・出来形確認・補修方法	施工管理表(施工チェックシート)			
	5. 施工要領		① 仮設工事 ② 解体工事 ③ 鉄筋工事 ④ コンクリート工事 ⑤ グラウト工事 ⑥ あと施工アンカー工事 ⑦ 内部仕上げ工事 ⑧ 外部仕上げ工事			協力会社から提出された施工要領書を使用することができる。 施工要領は追記方式とすることが出来る。 鉄筋工事は配筋要領に替えて施工図とすることが出来る。		

## 建築耐震改修工事 5/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対象：工事規模が概ね6千万未満の建築改修工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
						仮設工事は別に 仮設計画書等を 作成した場合は 省略出来る。		
	6. 安全衛生 管理	1) 安全衛生管理 計画	① 安全管理体制 ② 防火管理体制 ③ 安全衛生管理計画	この計画書に必要な安全計画等を記 載する。	消火器配置計画図	安全計画書等で 具体的な安全計 画が記載されて いる場合は省略 出来る。		
	7. その他添付 資料			必要な資料を添付する。	仮設計画図 施工図 施工管理技術者 ・技能士・技能資 格者等の資格証 明書の写し 安全管理に必要 な資格者の資格 証明書 使用材料カタログ 使用機器・工具等 カタログ 製品安全データ シート	4.品質管理 1)材 料で確認できるも のは省略できる。		

## 電気設備工事一般 1/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
電気設備 工事一般	1. 一般事項	1) 適用範囲		本施工計画書は「○○庁舎電気設備改修その他工事」に適用する。		一般事項は総合 施工計画書に記 載があれば工種 別施工計画書は 省略することが出 来る		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図等を記載する ・質疑、図面訂正事項 ・現場説明書 ・特記仕様書 ・設計図 ・公共建築工事標準仕様書 ・公共建築工事標準図 ・営繕工事写真撮影要領				
		3) 関係法規		本工事が適用を受ける主な法令等を記載する。				
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 ・電気設備工事監理指針 ・工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項		【記載例】 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は、この計画書の内容を変更する必要がある場合は監督職員と協議する。				
		6) 見本その他		本工事で提出が必要な見本等を記載する。				
		7) 工事関係者への周知		工事関係者への周知方法を記載する。				
	2. 工事概要	1) 工事名		○○庁舎電気設備改修その他工事 等		工事概要は総合 施工計画書に記 載があれば工種		



## 電気設備工事一般 2/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇号		別施工計画書は省略することが出来る。		
		3) 工期		平成〇〇年〇〇月〇〇日～ 平成〇〇年〇〇月〇〇日				
		4) 契約金額		〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円				
		5) 工事内容		工事種別毎に工事内容を箇条書きで記載する。				
	3. 工事一般	1) 共通事項	① 建築・機械設備工事との施工区分	建築・機械設備工事との施工区分を記載 ・梁貫通口、壁・床開口及びその補強 ・盤類等の基礎 ・自動制御用配線		施工図へ記載		
			② 機材等の保管場所、保管方法	資機材の保管場所、保管方法等を記載する。	保管場所は仮設図に記載			
			③ 施工に必要な資格者名簿・資格証	第1種・第2種電気工事士 消防設備士 溶接工	資格証写し			
		2) 品質管理	① 施工確認・検査時期	各工事の一工程の施工段階毎に施工確認、監督職員の検査を受けるため時期を記載する				
	4. 配管配線工事	1) 機材	① 配管・配線・ボックス類	使用する電線・ケーブル類の種類、規格の列記 使用する電線保護材の種類、規格 ・金属管 ・合成樹脂可とう電線管 ・金属線ぴ  使用するボックス類の種類	仕様書・標準図を引用 カタログを引用			

## 電氣設備工事一般 3/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				・金属製 ・樹脂製				
			② 線び	使用する線びの種類、規格	仕様書・標準図を引用	施工図へ記載又はカタログ・見本の提出		
		2) 施工方法	① 共通事項	電線・ケーブルの接続方法 接続部分の絶縁処理方法 耐火電線の絶縁処理、その他耐火処理方法 電線と機器端子部の接続 電線、ケーブルの支持方法 曲げ半径 電線の色別 低圧配線、弱電配線、高圧配線、ガス管、水管等の離隔 作業工具と工法 ボンディングの要否及びその種類、方法 耐震施工方法 管路の外壁貫通処理 防火区画貫通処理方法	カタログ、見本、認定書・仕様書を引用 仕様書・標準図を引用			
			② コンクリート埋設配管	配管相互の接続方法 配管と位置ボックス等の接続方法 配管、位置ボックス等の支持方法 曲げ半径、曲げ角度 配管の支持間隔 内断熱躯体への位置ボックスの種類、施工方法 ボンディングの要否及びその種類、方法		施工図へ記載 施工図へ記載 施工図へ記載 カタログ・認定書提出		
			③ 隠蔽配管及び露出配管	配管、位置ボックス等の支持方法 配管と位置ボックス等の接続方法				

## 電気設備工事一般 4/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				位置ボックス等の使用区分 配管の支持間隔 プルボックスの支持方法 塗装の要否、種別、方法、色別 ボンディングの要否及びその種類、 方法				
	5. ケーブル 配線	1) 機材	① ケーブルラック	使用するケーブルラックの種類、 規格	標準図の抜粋 製作図	施工図へ記載ま たは承諾図の提 出		
		2) 施工方法	① ケーブルラック配線	ケーブルラックの施工方法(吊り間隔、 吊りボルト太さ) ケーブルラックのボンディングの要否 及びその種類、方法 ケーブルラックの耐震施工方法 ケーブルの配線 ・結束方法・結束間隔(水平部、垂 直部) ・ケーブルの行き先表示、種別表示 ボンディングの要否及びその種類、 方法	仕様書・標準図を 引用	施工図へ記載  施工図へ記載 施工図へ記載		
			② 二重天井内配線 (Fケーブル)	ケーブルの施工方法(支持方法、支 持間隔) 支持部材 弱電流線との離隔	仕様書を引用  カタログを引用 仕様書を引用	施工図へ記載		
			③ 防火区画処理	防火区画材料 防火区画処理方法 延焼防止方法	カタログ、認定書 カタログ、認定書 カタログ、認定書	施工図へ記載又 はカタログ・認定 書の提出		
		3) 試験	① 品質管理 品質確認に必要な試 験、標準値を記載	絶縁抵抗試験  試験体制	仕様書を引用	総合施工計画に 品質管理で記載 されていれば総 合施工計画書を		

## 電気設備工事一般 5/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
	6. 金属線び 配線工事	1) 機材	① 金属線び	使用する金属線びの種類、規格 使用する金属線びの付属品の種類、規格	仕様書・標準図を 引用カタログを引用	引用する。		
		2) 施工方法	① 金属線び配線	固定方法(支持間隔、振れ止め方法) ボンディングの要否及びその種類、方法				
		3) 試験	① 品質管理 品質確認に必要な試験、標準値を記載	絶縁抵抗試験  試験体制	仕様書を引用	総合施工計画に 品質管理で記載 されていれば総合 施工計画書を 引用する。		
	7. 接地工事	1) 材料	① 接地端子箱	キャビネット形式及び端子数	仕様書・標準図を 引用 製作図を引用	施工図へ記載または承諾図の提出		
			② 接地銅板		仕様書・標準図を 引用 製作図を引用	施工図へ記載または 承諾図の提出		
			③ 接地棒		仕様書・標準図を 引用 製作図を引用	施工図へ記載または 承諾図の提出		
			④ 接地極埋設標		仕様書・標準図を 引用 製作図を引用	施工図へ記載または 承諾図の提出		
		2) 施工方法	① 接地埋設図・系統図	電力・通信・雷保護設備系統図		施工図へ記載		
			② 接地の種類	A種・B種・C種・D種など		施工図へ記載		
			③ 接地端子箱	取付方法		施工図へ記載		
			④ 接地銅板及び接地棒	打込方式 埋設方法		施工図へ記載		
			⑤ 接地極埋設標	取付方法及び取付箇所		施工図へ記載		

## 電気設備工事一般 6/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
	8. 電灯設備	3) 試験	① 品質管理 品質確認に必要な 試験、標準値を記 載	接地抵抗試験				提出する試験 成績書の項目 を記載
		1) 機材	① 配線器具類	器種	カタログ、見本を 引用	承諾図の提出		
			② 照明器具類 (一般照明器具、非 常用照明器具、誘 導灯)	機種	仕様書・標準図・ 製作図を引用	承諾図の提出		
			③ 照明制御装置	形式及び仕様	仕様書を引用 製作図を引用	承諾図の提出		
			④ 分電盤類及び開閉 器箱	形式及び仕様	製作図を引用	承諾図の提出		
		2) 施工方法	① 配線器具	取付方法、接続方法及び取付高さ		施工図へ記載		
			② 照明器具類 (一般照明器具、非 常用照明器具、誘 導灯)	取付方法(吊り方法、ボルトの太さ、 本数) 配線方法、配線の支持方法、機器 への接続方法 取付方法、接続方法及び配置図		施工図へ記載  施工図へ記載  施工図へ記載		
			③ 照明制御装置	照明センサ取付位置及び照度測定				
			④ 分電盤類及び開閉 器箱	取付方法及び電線類の接続方法 アンカーボルトの種類、太さ 固定方法 耐震措置	耐震計算書 耐震計算書 製作図を引用	承諾図の提出 承諾図の提出		
			3) 試験	① 施工確認 品質確認に必要な	コンセント極性試験記録 照明器具点灯試験記録	仕様書を引用		

# 電気設備工事一般 7/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
			試験、標準値を記載	非常照明照度測定記録 盤類及び開閉器箱の外観・構造・シーケンス試験記録 絶縁抵抗試験記録及び絶縁耐力試験記録 電圧確認記録及び相確認記録				
	9. 動力設備	1) 機材	① 制御盤類及び開閉器箱	形式及び仕様		承諾図の提出		
		2) 施工方法	① 制御盤類及び開閉器箱	施工方法及び電線類の接続方法 アンカーボルトの種類、太さ 固定方法 耐震措置	耐震計算書	施工図へ記載 承諾図の提出		
		3) 試験	① 品質管理 品質確認に必要な試験、標準値を記載	電動機の回転方向又は相回転記録 機器の発停(手動・遠方)試験記録 連動、インターロック試験記録 限時継電器及び保護継電器の設定、電流計赤指針の設定記録 警報回路の動作試験記録 電圧確認及び相回転試験記録	仕様書を引用			
	10 構内配電線路	1) 機材	① 電柱・装柱材料	種類及び仕様	仕様書・標準図、カタログを引用	施工図へ記載		
			② ケーブル類	種類及び規格	仕様書・標準図、カタログを引用	施工図へ記載		
			③ 地中ケーブル保護材料	種類及び規格	仕様書・標準図、カタログを引用	施工図へ記載		
			④ マンホール及びハンドホール	形状及び種類	仕様書・標準図を引用 カタログ又は製作図の引用	施工図へ記載 承諾図又はカタログの提出		

## 電気設備工事一般 8/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		2) 施工方法	⑤ 埋設シート及び埋 設標	種類	仕様書・標準図を 引用 カタログ又は制作 図の引用	施工図へ記載		
			① 工程表	構内配電線路の施工工程表 施工場所 施工確認・検査時期				
			② 安全衛生管理	装柱車、掘削機械を使用する場合搬 入経路、機械使用時の注意事項根切 り、掘削における安全対策				
			③ 掘削方法	掘削機械、手掘り				
			④ 埋設方法	埋設深さ、管相互の間隔				
			⑤ 地中ケーブル保護 材料のふ設	保護材料及ハンドホール類の接続 方法	カタログ又は製作 図の引用			
			⑥ マンホール及びハ ンドホール	止水方法	カタログ又は製作 図の引用			
			⑦ 表示	埋設シート、埋設標、ケーブルの表示	カタログ又は製作 図の引用			
			⑧ 作業員名簿	資格、資格証写し(クレーン、バックホ ー等の重機)				
		3) 試験	① 品質管理 品質確認に必要な試 験、標準値を記載	絶縁抵抗試験記録 絶縁耐力試験記録				
主要機器搬 入・据付計画	1. 工事概要	1) 工事名		〇〇庁舎電気設備改修その他工 事 等				
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇号				
		3) 工期		平成〇〇年〇〇月〇〇日～				

## 電気設備工事一般 9/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				平成〇〇年〇〇月〇〇日				
		4) 契約金額		〇〇,〇〇〇,〇〇〇円				
		5) 工事内容		工事種別毎に工事内容を箇条書きで記載する。				
	2. 〇〇機器搬入・据付		① 施工管理体制表	〇〇機器搬入・据付に関する体制を記載する。				
			② 工程表(スケジュール)	〇〇機器搬入・据付に関する工程表搬入スケジュール				
			③ 安全衛生管理	一般事項 作業開始前、作業中の安全対策 作業後の点検、確認 揚重作業の安全対策 固定方法 耐震措置 交通誘導員の配置計画 バリカー				
			④ 作業員名簿	資格、資格証写し、講習修了書 (あと施工アンカー、玉かけ技能士 高所作業車)				
			⑤ 作業方法	揚重機器・運搬車両等の仕様(揚重量、過積載、回転半径の確認)	揚重機仕様 車両登録書			
			⑥ 据付場所の位置	機器及び重機の設置場所 揚重機の半径 作業範囲				
			⑦ 運搬方法及び運搬ルート	現場内の出入り口の位置及び周辺状況				
			⑧ 据付	固定方法				



## 電気設備工事一般 10/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				耐震措置 耐震計算書				
			⑨ 品質管理	搬入した機器の管理方法 搬入した機器の養生方法				
○○試験計画書 ・受変電設備 ・自家発電設備 ・太陽光発電システム ・受電計画書等	1. 工事概要	1) 工事名		○○庁舎電気設備改修その他工事 等				
		2) 工事場所		○○県○○市○○町○○番地○号				
		3) 工期		平成○○年○○月○○日～ 平成○○年○○月○○日				
		4) 契約金額		○○,○○○,○○○円				
		5) 工事内容		工事種別毎に工事内容を箇条書きで記載する。				
	2. ○○試験計画		① 施工管理体制表	○○試験に関する体制を記載				
			② 電気事故緊急連絡先	電気事故が起きた場合の連絡先を追記				
			③ 作業概要	作業(試験)日時 試験の種類、試験項目、試験内容 作業内容(試験)及び配置	設備の結線図			
			④ 工程表(スケジュール)	○○試験の全体工程表				
			⑤ 作業手順(タイムスケジュール方式で記載)	日時 作業内容(安全体制、作業手順等の確認 作業者	設備の結線図			

## 電気設備工事一般 11/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				確認者				
			⑥ 仮設設備					
			⑦ 安全衛生管理	試験区画との区画方法 試験中の安全対策 安全表示				
			⑧ 試験成績書式		工場検査時の試験成績書を提出			
総合連動試験 計画書	1. 工事概要	1) 工事名		〇〇庁舎電気設備改修その他工事 等				
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇号				
		3) 工期		平成〇〇年〇〇月〇〇日～ 平成〇〇年〇〇月〇〇日				
		4) 契約金額		〇〇,〇〇〇,〇〇〇円				
		5) 工事内容		工事種別毎に工事内容を箇条書き				
	2. 総合連動 試験		① 施工管理体制表	総合連動試験に関する体制を記載				
			② 電気事故緊急連絡 先					
			③ 試験概要	試験の種類、項目				
			④ 工程表 (スケジュール)	総合試験に関する工程を記載				
			⑤ 試験内容	連動フロー 例) 停電から復電までに連動する設備機器のフロー図				

## 電気設備工事一般 12/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				(連動する設備) 受変電設備 防災設備(自家発電設備、非常照 明、火災報知設備、防火戸、防 火シャッター、消火ポンプ、等) 空調設備(冷凍機、空調機、ファン 等)				
			⑥ 確認体制分担表	配置及び確認内容				
停電作業計画 書	1. 工事概要	1) 工事名		〇〇庁舎電気設備改修その他工 事 等				
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇号				
		3) 工期		平成〇〇年〇〇月〇〇日～ 平成〇〇年〇〇月〇〇日				
		4) 契約金額		〇〇,〇〇〇,〇〇〇円				
		5) 工事概要		工事種別毎に工事内容を箇条書き で記載する。				
	2. 停電施工計 画		① 施工管理体制表	停電作業に係る体制を記載				
			② 電気事故緊急連絡 先					
			③ 工程表 (スケジュール)	停電作業に関する工程を記載 停電日時 作業工程				
			④ 停電範囲					
			⑤ 安全衛生管理	停電作業に関わる共通事項 (検電、防護具、表示等 )				

## 電気設備工事一般 13/13

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の電気設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
			⑥ 仮設	仮設電源(発電機) (仕様、設置場所、搬入方法) 仮設配線図 仮設照明 仮設電源(既存設備から電源を取る 場合)	カタログ写し			
			⑦ 作業内容	停電をして行う作業を記載 (例) ・キュービクルの改修				工種別の施工計画書を作成していれば項目を列記

## 機械設備ダクト工事 1/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
機械設備 ダクト工事	1. 一般事項	1) 適用範囲		本施工計画書は「○○庁舎機械設備改修その他工事」に適用する。		1. 一般事項及び 2. 工事概要の記載内容が総合施工計画書に記載されている場合は、省略できる。		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図等を記載する ・質疑、図面訂正事項 ・現場説明書 ・特記仕様書 ・設計図 ・公共建築工事標準仕様書 ・公共建築工事標準図 ・営繕工事写真撮影要領 ・建築材料、設備機材等選定資料				
		3) 関係法規		本工事が適用を受ける主な法令等を記載する。				
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 ・機械設備工事監理指針 ・工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項		【記載例】 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は、この計画書の内容を変更する必要がある場合は監督職員と協議する。				
		6) 見本その他		本工事で提出が必要な見本等を記載する。				
		7) 工事関係者への周知		工事関係者への周知方法を記載する。				
	2. 工事概要	1) 工事名		○○庁舎機械設備改修その他工事				

## 機械設備ダクト工事 2/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇号				
		3) 工期		平成〇〇年〇〇月〇〇日～ 平成〇〇年〇〇月〇〇日				
		4) 契約金額		〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円				
		5) 工事内容		工事種別毎に工事内容を箇条書き で記載する。				
	3. 施工一般	1) 施工管理体制	① 施工管理体制	工事の目的、条件、方法等を簡潔に 記載する。				
			② 技術者等	技能士、施工管理技術者等を記載 する。	資格書(写)添付		総合施工計画 書に記載した場 合、省略できる。	
		2) 仮設・養生等	① 仮設	ダクト工事に必要な仮設を記載 する。				
			② 養生等	ダクト工事に必要な養生方法を記載 する。 (既存施設に対する養生方法等) 「既存ダクト位置等の調査」				必要に応じ監督 職員と協議の上 行う
	4. 品質管理	1) ダクト及びダクト付属 品	① 一般事項	ダクト区分（低圧・高圧1、2）等 ダクト工法の分類を記載する。				
			② ダクト用材料	矩形ダクト・スパイラルダクト等の材料区 分を記載する。 副資材の材料区分を記載する。				
			③ 継手	継手の材料区分を記載する。				
			④ ダンパー類	各ダンパーの規格・材料区分を記載 する。				

## 機械設備ダクト工事 3/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				各ダンパーの種類・選択するリスト等を記載する。				
			⑤ ダクト付属品	たわみ継手の用途及び仕様を記載する。  風量測定口及び温度計等の用途を記載する。  温度計の用途及び仕様を記載する。				
		2) ダクトの製作及び取り付け	① 矩形ダクト	矩形ダクトの仕様を記載する。 ダクトの接続、吊り・支持金物等を記載する。  補強区分、縦・横方向の補強方法等を記載する。  接続方法（アングル工法、共板工法等）を記載する。  継目（はぜ）の種類、使用区分を記載する。  シールの種類、区分、施工箇所を記載する。  ダクト吊り支持材、吊りの支持間隔、固定方法等を記載する。				
			② スパイラルダクト	スパイラルダクトの仕様を記載する。  接続方法、シールの種類、区分、施工箇所を記載する。  ダクト吊り・支持材、吊りの支持間隔、固				

## 機械設備ダクト工事 4/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				定方法等を記載する。				
	5. 施工管理	1) 機器廻りダクト接続 要領	① 送風機類	送風機廻りの接続に対する作業手順、 注意点等を記載する。  送風機廻りの接続要領図を記載する。				
			② 空調機類	空調機廻りの接続に対する作業手順、 注意点等を記載する。  空調機廻りの接続要領図を記載する。				
		2) ダンパー類の取付 要領	① ダンパー類	ダンパー廻りの接続に対する作業手順、 注意点等を記載する。 ダンパー類廻りの接続要領図を記載す る。				
		3) ダクト付属品の取付 要領	① 風量測定口・温度計 等	ダクト付属品の取り付け箇所等の記載 及び風量測定口・温度計等の接続要 領図を記載する。				
		4) 貫通処理	① 防火・防水区画	区画貫通に対する作業手順、注意点 等の記載する。  壁（防火・防水区画）の貫通処理要領 図を記載する。  床（防火・防水区画）の貫通処理要 領図を記載する。		標準図を引用。		
		5) 試験	① 試験方法	各ダクトに対する試験方法及び手順を 記載する。				
	6. 安全衛生 管理	1) 安全衛生管理計 画	① 安全衛生管理計画	ダクト工事に必要な安全計画等を記載 する。		工事安全計画書 を別途作成すれ		



## 機械設備ダクト工事 5/5

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備 考
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生組織表</li> <li>・安全対策の具体的な内容(図示等)を記載する。</li> <li>・火気の対策措置について記載する。</li> <li>・転落防止措置について記載する。</li> <li>・落下防止措置について記載する。</li> </ul>		ば記載不要。		
		2) 諸官庁への届け出等	① 官公署その他への届け出等	官公署その他への届け出等を記載する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出先</li> <li>・提出時期</li> <li>・検査時期</li> <li>・届け出等の書式</li> </ul>				
	7. その他	1) その他添付資料			<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設計画図</li> <li>・「各資格等」に対する資格証明書等の写し</li> <li>・資機材のカタログ等</li> </ul>			

## 機械設備配管工事 1/8

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
機械設備 配管工事	1. 一般事項	1) 適用範囲		本施工計画書は「○○庁舎機械設備改修その他工事」に適用する。		一般事項は総合 施工計画書に記載 があれば工事 別施工計画書へ の記載を省略す ることが出来る。		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図 等を記載する。 ・質疑、図面訂正事項 ・現場説明書 ・特記仕様書 ・設計図 ・公共建築工事標準仕様書 ・公共建築工事標準図 ・営繕工事写真撮影要領  ・建築材料、設備機材等選定資料				仕様書：公共建 築工事標準仕 様書(機械設備 工事編) 標準図：公共建 築設備工事標 準図(機械設備 工事編) 監理指針：(参考 図書)機械設備 工事監理指針
		3) 関係法規		本工事が適用を受ける主な法令等 を記載する。				
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 ・機械設備工事監理指針 ・工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項		【記載例】 設計図書に定められた内容に疑義が 生じた場合又は、この計画書の内容 を変更する必要がある場合は、監 督職員と協議する。				
		6) 見本その他		本工事で提出が必要な見本等を記 載する。				
		7) 工事関係者への 周知		工事関係者への周知方法を記載す る。				
	2. 工事概要	1) 工事名		○○庁舎機械設備改修その他工事		工事概要は総合		

## 機械設備配管工事 2/8

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等添付資料	工事書類簡素化の手段	該当項目	備考
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇〇号		施工計画書に記載があれば工種別施工計画書への記載は省略することが出来る。		
		3) 工期		平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日				
		4) 契約金額		〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円				
		5) 工事内容		工事種別毎に工事内容を箇条書きで記載する。				
	3. 施工一般	1) 施工管理体制	① 施工管理体制	工事の目的、条件、方法等を簡素に記載する。				
			② 技術者等	技能士、施工管理技術者等を記載する。	資格書(写)添付	総合施工計画書に記載した場合、省略できる。		
		2) 仮設・養生等	① 仮設	配管工事に必要な仮設を記載する。				
			② 養生等	配管工事に必要な養生方法を記載する。 (既存施設に対する養生方法等)				
	4. 品質管理	1) 配管の一般事項	① 各配管の一般事項	当該工事で実施する給水配管施工に関する一般事項及び注意点等を記載する。  ①クロスコネクション防止を配慮した施工とするため、上水・雑用水に使用する配管に用途表示する。  ②コンクリートへの埋設等により腐食のおそれがある部分には有効な防食措置を講ずる。等々		施工図へ記載		

## 機械設備配管工事 3/8

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目:受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等添付資料	工事書類簡素化の手段	該当項目	備考
				当該工事で実施する排水・通気配管施工に関する一般事項及び注意点を記載する。  ①排水管は適正な勾配となるよう施工する。  ②通気口設置は扉・窓等の開口部から適正な隔離をとるよう施工する。等々  冷温水配管に対する一般事項及び注意点を記載する。  ドレン配管に対する一般事項及び注意点を記載する。  その他配管に対する一般事項及び注意点を記載する。		施工図へ記載      施工図へ記載  施工図へ記載  施工図へ記載		
		2) 配管材料	【給水】 ① 配管	使用する配管材料の規格、使用部位等を記載する。仕様書を参考に「規格(番号、名称)」などを記載し、また、使用部位は地中埋設、屋内、屋外露出などを記載する。				※給水・排水・給湯・消火等の部位毎に①～⑦の項目について記載を行う
			② 継手	使用する継手材料の規格、使用部位等を記載する。→①配管と合わせて記載しても構わない。  仕様書を参考に「規格(番号、名称、種別)」などを記載し、また、使用部位は地中埋設、屋内、屋外露出などを記載する。				

## 機械設備配管工事 4/8

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
			③ 接合剤	<p>’使用する各接合剤の仕様、用途、参考商品名等を記載する。</p> <p>監理指針等を参考に使用する接合剤の名称(テープシール剤、防食用ペーストシール剤、管端防食剤など)、規格(JIS、JWWAなど)、用途(塩ビライニング鋼管、塩ビ管など)を記載する。</p>				
			④ 弁及び水栓類	<p>’使用する弁及び水栓類等の規格、使用部位等を記載する。</p> <p>仕様書等を参考に「規格(番号、名称)」など、使用部位は受水槽一次側、受水槽二次側以降などを記載する。</p>				
			⑤ 計器類	使用する計器類材料の仕様等を記載する。				
			⑥ 防食材等	<p>’使用する防食材等の仕様、用途、参考商品名等を記載する。</p> <p>仕様書等を参考に名称(防食テープ、絶縁テープなど)、仕様(JIS)、用途(埋設配管、壁貫通部など)を記載する。</p>				
			⑦ 雑材料					
		3) 配管の接合	① 一般事項	配管接合に関する(管の切断・加工方法、使用工具など)一般的な注意点等を記載する。				品質(施工)管理に関する項目についても記載する。

## 機械設備配管工事 5/8

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
				①管はすべて、その断面が変形しないよう管軸心に対して直角に切断し、その切り口は平滑に仕上げる。  ②塩ビライニング鋼管の切断にはパイプカッターは使用せず、帯鋸盤またはねじ切機搭載形自動丸のこ機で行う。等々・・・				
			②【ねじ接合】	ねじ接合に対する管理方法を記載する。 配管材料毎の接合方法の要点及び留意点等を記載する。  監理指針等を参考にねじ接合の施工管理における留意点等を記載する。  ①各サイズにおける標準締付けトルクを確認しながらパイプレンチ等による締付けを行う。 ②締付け後に各サイズにおける標準残りねじが確保されているか確認す等々・・・  仕様書等を参考に接合時のポイント、(使用するシーリング剤等)留意事項等を記載する。				※当該工事で使用するねじ接合・フランジ接合・溶接接合等の接合種別毎について記載を行う
			③【フランジ接合】	フランジ接合・・・・・・・・				
			④【溶接接合】	溶接接合・・・・・・・・				

## 機械設備配管工事 6/8

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
		4) 配管支持	① 支持金物	使用する支持金物の種類及び仕様 等を記載する。  鋼管の横走り管の吊り用ボルトは配 管呼び径が100A以下のものにあっ てはM10の棒鋼を使用する。				
			② 支持間隔	仕様書の「横走り管の吊り及び振れ 止め支持間隔」の表を参考にして、 使用する配管の支持間隔等を記載 し、注意点等があれば併せて記載 する。				
			③ 勾配	仕様書等を参考に勾配が必要な各 配管について、数値及び注意事項 等を記載する。				
			④ インサート金物	使用するインサート金物の種類及び 仕様、注意点等を記載する。  標準図等を参考に使用するインサ ートの種類の記載や、工種の区分け を明確にするための色分けをする等 の注意点を記載する。				
			⑤ あと施工アンカー	あと施工アンカーを施工する作業 者の資格・技能等や、作業方法、(金 属拡張あと施工アンカー、接着系 あと施工アンカー等)種類等を記載 する。				※主に改修工 事等で使用す る場合を想定
			⑥ 横走り配管・立て配管	標準図等を参考に配管の支持方 法、形鋼振止め方法等を部位毎 に図示するほか、注意点等を記 載する。				
	5. 施工管理	1) 弁装置等の取り	① 各弁装置等の取り付	標準図、発注図面等を参考に弁装				

## 機械設備配管工事 7/8

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
		付け要領	け要領	置等の組み方、取り付け作業手順等を記載する。				
		2) 計器類の取り付け要領	① 各計器類の取り付け要領	(圧力計、温度計などの)計器類の取り付け作業手順等を記載する。				
		3) 機器廻りの配管要領	① 各機器廻りの配管要領	標準図、発注図面等を参考に各機器廻りの配管の組み方、取り付け方法及び作業手順等を記載する。				
		4) 器具廻りの配管要領	① 衛生器具廻り	標準図、発注図面等を参考に各衛生器具廻りの組み方、取り付け方法及び作業手順等を記載する。				
			② 床排水廻り	標準図、発注図面等を参考に床排水廻りの組み方、取り付け方法及び作業手順等を記載する。				
		5) 埋設	① 一般事項	仕様書等を参考に埋設配管における施工上の一般的な注意点等を記載する、必要に応じて埋設部分の処理要領図を記載する。				
			② 埋設深さ	埋設深さが異なる場合には当該配管種別、部位毎に埋設深さを記載する。				
			③ 防食措置	防食措置が必要となる配管については当該配管種別、部位毎に防食措置方法や注意点を記載する。				
		6) 貫通部の処理	① 防火・防水区画	標準図等を参考に防火区画・防水区画等の貫通部における施工上の注意点等を記載するとともに、壁、床等の部位毎に防火区画・防水区画等の貫通処理要領を図示する。				
		7) 試験	① 試験方法	仕様書等を参考に各配管毎に試験				



## 機械設備配管工事 8/8

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
				方法、手順等を記載する。				
	6. 安全衛生管理	1) 安全衛生管理計画	① 安全衛生管理計画	配管工事に必要な安全計画等を記載する。 ・安全衛生組織表 ・安全対策の具体的な内容(図示等)を記載する。 ・火気の対策措置について記載する。 ・転落防止措置について記載する。 ・落下防止措置について記載する。		工事安全計画書を別途作成すれば記載不要		
		2) 諸官庁への届け出等	① 官公署その他への届け出等	官公署その他への届け出が必要となる項目を記載する。・提出先、提出時期、検査時期、書式等  監理指針等を参考に確認を行い、関係各所に事前に確認しておく。				
	7. その他	1) その他添付資料		必要に応じて右記関係資料等を添付する。	・仮設計画図 ・当該工事で必要な資格証明書等の写し ・使用する資機材のカタログ等			

## 機械設備保温・塗装工事 1/4

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
機械設備 保温・塗装 工事	1. 一般事項	1) 適用範囲		本施工計画書は「○○庁舎機械設備改修その他工事」に適用する。		1. 一般事項及び 2. 工事概要の記載内容が総合計画書に記載されている場合は省略できる。		
		2) 適用図書		本工事に使用する仕様書、標準図等を記載する ・質疑、図面訂正事項 ・現場説明書 ・特記仕様書 ・設計図 ・公共建築工事標準仕様書 ・公共建築工事標準図 ・営繕工事写真撮影要領 ・建築材料、設備機材等選定資料				
		3) 関係法規		本工事が適用を受ける主な法令等を記載する。				
		4) 参考図書		参考となる図書名を記載する。 ・機械設備工事監理指針 ・工事写真の撮り方				
		5) 変更・質疑事項		【記載例】 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は、この計画書の内容を変更する必要がある場合は監督職員と協議する。				
		6) 見本その他		本工事で提出が必要な見本等を記載する。				
		7) 工事関係者への周知		工事関係者への周知方法を記載する。				
	2. 工事概要	1) 工事名		○○庁舎機械設備改修その他工事				

## 機械設備保温・塗装工事 2/4

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
		2) 工事場所		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地〇 〇号				
		3) 工期		平成〇〇年〇〇月〇〇日～ 平成〇〇年〇〇月〇〇日				
		4) 契約金額		〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円				
		5) 工事内容		工事種別毎に工事内容を箇条書き で記載する。				
	3. 施工一般	1) 施工管理体制	① 施工管理体制	工事の目的、条件、方法等を簡素に 記載する。		総合施工計画 書に記載した場 合、省略できる。		
			② 技術者等	技能士、施工管理技術者等を記載 する。	資格書(写)添付			
		2) 仮設・養生等	① 仮設	保温・塗装工事に必要な仮設を 記載する。				
			② 養生等	保温・塗装工事に必要な養生方法 を記載する。 (既存施設に対する養生方法等)				
	4. 品質管理	1) 保温工事の一般 事項	① 各保温の一般事項	各保温に対する一般事項及び注 意点を記載する。				
		2) 保温材料	① 各保温材の仕様	使用する保温材、外装材、補助材 の仕様を記載する。				
			② 空気調和設備工事 の保温	使用する配管の区分毎に施工箇 所及び保温の種別・厚さを記載する。  使用する機器の区分毎に施工箇 所及び保温の種別・厚さを記載する。				

## 機械設備保温・塗装工事 3/4

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
				使用するダクトの区分毎に施工箇所及び保温の種別・厚さを記載する。				
			③ 給排水衛生設備工事の保温	使用する配管の区分毎に施工箇所及び保温の種別・厚さを記載する。  使用する機器の区分毎に施工箇所及び保温の種別・厚さを記載する。				
			3) 塗装工事の一般事項	① 各塗装の一般事項 各塗装に対する一般事項及び注意点を記載する。				
		4) 塗装材料	① 塗装素地ごしらえ	用途・工程順序・処理方法について記載する。				
			② 塗装の種別	各塗装箇所・さび止め塗料の種別を記載する。				
			③ 塗装	各塗装箇所の塗料の種別・塗り回数について記載する。				
	5. 施工管理	1) 保温の施工要領	① 空気調和設備工事の保温施工要領	使用する配管の区分毎に施工箇所及び保温の種別・材料・施工順序を記載する。(図示による)  使用する継手・弁類の区分毎に施工箇所及び保温の種別・材料・施工順序を記載する。(図示による)  使用する機器の区分毎に施工箇所及び保温の種別・材料・施工順序を記載する。(図示による)  使用するダクトの区分毎に施工箇所及び保温の種別・材料・施工順序を記載する。(図示による)				

## 機械設備保温・塗装工事 4/4

施工計画書（記載項目等参考例）

対 象：工事規模が概ね5千万未満の暖冷房設備衛生設備工事。

該当項目：受注者は該当項目の欄に○を付して、監督職員と協議の上、記載項目を確認する。

計画書の種別	章	節	記載項目	記載する内容(要点)	計画書等 添付資料	工事書類簡 素化の手段	該当項目	備考
			② 給排水衛生設備工 事の保温施工要領	<p>使用する配管の区分毎に施工箇所 及び保温の種別・材料・施工順序を 記載する。(図示による)</p> <p>使用する継手・弁類の区分毎に施 工箇所及び保温の種別・材料・施工 順序を記載する。(図示による)</p> <p>使用する機器の区分毎に施工箇所 及び保温の種別・材料・施工順序を 記載する。(図示による)</p>				
	6. 安全衛生 管理	1) 安全衛生管理計 画	① 安全衛生管理計画	<p>保温・塗装工事に必要な安全計画 等を記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生組織表</li> <li>・安全対策の具体的な内容(図示 等)を記載する。</li> <li>・火気の対策措置について記載す る。</li> <li>・転落防止措置について記載する。</li> <li>・落下防止措置について記載する。</li> </ul>		工事安全計画書 を別途作成すれ ば記載不要		
	7. その他	1) その他添付資料			<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設計画図</li> <li>・「各資格等」 に対する資格 証明書等の 写し</li> <li>・資機材のカ タログ等</li> </ul>			